

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上中央 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日	～	令和8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業員評価実施期間	令和8年 1月 5日	～	令和8年 1月 16日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援について意見を自由に言い合い、違いを認め合う雰囲気大切にしていること。	支援について共有、振り返りをし、よりよい支援につなげています。	個々の成長発達のアセスメントの取り方について、ツールを使った方法を職員間で学び合います。
2	指導訓練室のほか、食堂、静養室、相談室があり、用途に合わせて使用していること。	活動内容に合わせて、個室や指導訓練室を使い分け、プログラムに集中しやすい環境を整えています。	プログラム内容に合わせて環境を設定し、お子さんが見通しを持って分かりやすく取り組めるように工夫します。
3	法人として、資格取得に向けてのバックアップ体制があり、職員が安心して学べる環境が整っていること。	保育、福祉、教育などの専門性を持った職員が複数関わることで、お子さんを多角的に支援しています。	それぞれの専門性を活かすため、研修を通して自己研鑽する機会を作ります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域と交流する機会が少ないこと。	利用時間や頻度により、交流の機会を提供しづらいことが要因として挙げられます。	長期休みをご利用のお子さんについては、外出活動や行事を通して、地域交流の機会を提供します。
2	通園先との情報共有する時間が短いこと。	通園先との情報共有は送迎時のみのため、共有しきれない部分があります。	園の様子を見学させて頂くなど、時間を取って情報共有し、統一した支援が行えるようにします。
3	保護者同士で交流する機会が1回のみであったこと。	第一回の保護者のお茶会を開催したのが秋頃でしたので、複数回の開催が難しい状況にありました。	開催について年間計画を立て、複数回保護者の交流する機会を提供します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上中央 児童発達支援

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数 令和8年 1月 1日時点 2名 回収数 2名 (回収率100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1				職員配置は基準を満たしていますが一時的に送迎などで手薄になる時間帯があります。お子さんが安心して過ごせるように、活動や余暇の提供、送迎の工夫をまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1		1			それぞれ遠隔されていますので、他園との交流の機会を提供はしていませんが、地域との交流としては、恒例行事である音楽イベントやクリスマス会を通して他事業所のお子さんと活動する機会があります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2					
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上中央 児童発達支援		公表日		令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・食堂や活動、遊びの空間を分けています。 ・玄関にはスロープ、所内はバリアフリーの作りになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・個別の部屋は2つあり、必要に応じて使用できる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・朝会や職員会議などで課題を共有し議論しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年1回評価表で頂いたご意見について、所内で協議、検討しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・意見を伝えやすい雰囲気作りに努め、書き込みできる用紙を貼り出して活用しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6			・今後検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・子ども療育センターへ行き児童発達の様子を見学しました。 ・内部、外部研修に定期的に参加し、研修後は内容について共有しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				・内容について、来年度見直しをする予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・外部のアセスメント表を使用し、個別支援計画を立てる際のアセスメントにしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・朝会で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			・職員が公休の場合、後日行っています。 ・特別に時間を設けてはいませんが、日直が日誌を記入する際に、当日の支援について振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			・子ども療育センターや保健師と連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・移行に向けてではありませんが、送迎時に園と情報共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・対象者はいません。 ・直接ではなくても、相談員や保護者を通して情報共有できるように努めます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7				・子ども療育センターへの見学や、心理士の派遣により助言を頂いています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5			・地域との交流はあります。 ・園との交流はありませんが、近所の公園で遊んだり他事業所との合同行事に参加しています。 ・今後検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				・保護者向けのペアトレの他、講師を招いての研修会も開催しています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				・面談時や(案)作成時に保護者へ説明し、意向を確認しています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7					
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				・年1回面談を行い、随時、必要に応じて行っています。 ・お茶会も活用し、複数回、保護者と顔を合わせる機会を提供していきます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・保護者会はありませんが、お茶会を開催し、兄弟の参加もありました。	・兄弟同士での交流はありません。 ・今後検討します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・行事に大家さんを招いたり、敬老訪問で近所を訪問しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・対象者はいません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・活動として取り組んだ際には、お便りや連絡帳でお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・内部、外部とも研修に参加しています。 ・年に4回、人権擁護チェックを行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・対象者はいません。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上にこっと 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 13日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アセスメントを行いながら、個別療育を行っている。	・ポータージのテキストを使用しアセスメントを行っている。 ・一人の職員による担当制ではなく、複数の職員がローテーションで療育を行い、評価が偏らないようにしている。 ・保育所、関係機関へ情報提供を行い、共通理解に努めている。	・ポータージテキスト以外にも、研修で学んだ内容を支援内容に取り入れ、総合的に支援が出来るよう取り組む。
2	・北上地区合同でペアレントトレーニング研修会を開催しました。	・対象を事業所を利用している保護者様のみに限らず、福祉サービスを利用したことがない方も対象とした。	・次年度以降も開催し、保護者支援に努める。
3	・個別療育がメインであるが、保護者さんの希望があれば集団でも利用可能です。	・集団療育に慣れていない利用者さんでも、他の利用者さんに関われるよう、職員が仲介しながら支援を行っている。	・卒園が近くなるにつれて、集団に慣れる為の機会を職員から提案する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童発達利用者同士の集団療育が難しい事。	・児童発達利用者が少ない為、利用日が一緒になることがない為。	・放課後等デイサービスの利用定員との兼ね合いを見ながら、放課後等デイサービス利用者との集団利用を提案する事。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ひだまり北上にこっと 児童発達支援
------	-------------------

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数

2

回収数

2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2				
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1			・利用来所時や連絡帳、電話やメールを通して連絡を取り情報交換を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2				
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1		・事業所内で年4回、非常災害やAED講習を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				※未記入1名	・万が一事故が発生した場合は速やかに保護者へ連絡します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1			1		・子どもが安心して通所出来るよう、職員が寄り添いながら支援します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1			1		・子どもが楽しく通所出来るよう、支援プログラムを工夫しながら支援します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ひだまり北上にこっと 児童発達支援		令和8年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・段差はあるが、簡易なスロープを付けた り、声掛けで注意を促している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・静と動で居室を分けて過ごせるようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・職員から意見を出しやすいよう、「相談リスト」を提示し、職員会議で検討しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年1回実施し、職員間で検討し、業務改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員会議に向け意見を書く用紙(相談リスト)を設置し、議題に挙げ都度改善している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・今後検討する必要があります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・法人全体、事業所単位で定期的に研修の機会があります。また、外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者面談やサービスと利用計画に基づいて作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・個別支援会議で検討しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・個別の支援記録ファイルを作成し、支援計画についても常時確認出来るようファイリングしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・外部のツールを使用し、アセスメントを行っています。	・個別療育については、ポータージプログラムのテキストを参考にしながら、発達に合わせた支援を行っていきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・輪番性で担当しており、内容は相談しながら行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・行ったことの振り返り、伝達をしながら、スキルアップできる内容にしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・基本的には個別療育だが、場合により集団での支援も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・対応した職員が支援した内容をファイルへ記入し、次の職員へ伝達している。朝会で支援内容を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・次の日の朝会で振り返りを行っています。 ・支援内容を記録し、次の課題も検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・連絡帳、ケース記録に記録をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・ロゴチャットを活用しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・相談支援事業所や保護者を通じて情報を頂いています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・こども療育センターの公認心理士に助言を頂いております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・保育所等の交流はありませんが、地域の公共施設へ外出する機会を設けています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・ご家族の状況により個別性に合わせた情報共有をしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・北上地区合同ペアレントトレーニングを開催しました。保護者支援向けの研修等、情報提供しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・保護者面談やモニタリング説明時に意向を確認しています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・子の状況に応じて面談を行ったり、迎え時などで、利用時にできたこと等をふまえて助言等を行っています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・北上地区の事業所合同で飯豊地区センターを使用し、保護者懇親会を開催しました。	・参加人数は少ないため、イベントなどと合わせて、集まりやすい雰囲気を作っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談の要望があった場合は、対応させて頂いております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・ご家族の状況により個別性に合わせた情報提供をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・周知やマニュアルの読み合わせを行っています。 ・年1回AED講習を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・BCPの内容の内容については、適宜見直しを行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・保護者から服薬状況、母子手帳、てんかん発作等について定期的に情報を頂いています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・指示書は頂いていませんが、保護者から情報を頂き対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・毎月の活動計画の中に、訓練等について盛り込んでいます。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・玄関に設置し、閲覧できるようにしています。	・おたよりやブログを通じて取り組み内容を伝えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・シエルモデルを参考に検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・該当者なし。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上☆きらり 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に合わせた手厚い支援、医療的ケアの提供が できている。	支援内容によっては職員2名体制で対応していま す。 保護者さんとのコミュニケーションを密にしていま す。	その日の体調に合わせ、適切な支援、ケアの提供 に努めます。
2	事業所内ではあるが、いろんな年齢層の方との交流 ができています。	お兄さん、お姉さんたちと一緒に活動に参加して触 れ合っています。	集団で行える活動を増やしていきます。
3	酸素や呼吸器を扱う業者と情報共有をし、体調の変 化などに対応できる環境にあります。	各利用者専用の酸素を用意しています。 業者さんとも利用者の状況を把握し、次の対応をス ムーズにしています。	災害時や緊急時に備え、備品を充実させます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所やこども園、幼稚園等との交流や地域の子供 たちとの交流の機会が少ない。	利用者さんの状況を考えると、色々なことに配慮が 必要で環境を整えることが難しい。	安心、安全に利用者さんが参加できる行事、環境 を考えます。 地域の方にも協力してもらい、一緒に交流の場を 考えていきます。
2	保護者同士、兄弟同士の交流が少ない。	お茶会を実施しましたが、1回目が遅かったので、 年度内に2回目の開催ができませんでした。	お茶会などの年間計画をたて、複数回開催を目指 します。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上☆きりり 児童発達支援

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数 5名

回収数 5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3		1	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1				
19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					いつも丁寧に対応していただきとてもありがたいです。安心して通うことができます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ひだまり北上☆きらり 児童発達支援		令和8年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	長期休み中、お昼寝の時間に横に慣れない方がいるが、時間をずらして対応している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			自力歩行ができる利用者がある場合、入浴支援時、もう一人職員がいたらいいのではと感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		おもちゃやテーブル等、使用した都度、消毒している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		食事の時間がずれる時など、面談室を使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員会議を定期的に行っている。	業務改善の意識が低いと感じる。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者へのアンケート配布し、意見をいただいている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		疑問等あればすぐに話せる雰囲気であり、都度相談しながら進めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		シフト調整を行い、研修に参加できるようにしている。(非常勤の職員に出てもらうなど)定期的な研修案内があり、参加できるものには積極的に参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者さんの意見を聞いて職員間で話し合い、目標を決めて目標に沿い、支援している。相談員とも情報共有し計画されている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリングなどで共通理解に努めている。作成後は職員皆で目を通している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員会議やモニタリングで情報共有を図っている。作成後は職員全員が目を通している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月1つは新しい活動を入れるようにしている。ネットなどを活用しマンネリ化しないようにしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		特性上、個別活動が多くなっている。長期休みなど利用し、他児との関わりを増やせるようにしている。活動計画作成の際、偏りがないよう考慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝会でその日の活動を話し合い、支援している。	朝会で活動の説明をしているが担当や詳細について明確にしてほしい。毎朝朝会をしているが活動について説明不足を感じることもある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	送迎等によりその日に行うことが難しいため翌朝に行っている。	振り返りができていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		保護者との会話など細かいことも記録するように心掛けている。特記事項など記録を行っている。	記録はしているが改善しようという意識は低いと感じる。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングの際は職員全員参加し意見交換している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		必要なときは看護師にも出席してもらっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		会議に看護師が同席するなど連携に努めている。入院、退院など状況に変化のある際は医療機関も交えてカンファレンスが行われている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	保育所に通っている利用者は今までいなかったが今後、そのような利用者がいたら対応したい。該当者なし。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		情報交換会に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		医療コーディネーターの方に連絡を取りご意見をいただいたことがある。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	年に一度市内の他事業所と合同のクリスマス会を開き兄弟児や他の利用者で活動する機会を持っている。	特性上難しいこともあるが今後何らかの形で参加できる機会を設けたい。案内があれば周知する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		ご家族の送迎時や連絡帳を利用しその日の様子をお伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		ペアトレのお知らせもしている。市からの研修案内なども配布している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			就労などで面談の時間の確保が難しい方がいる。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	お茶会など実施している。	クリスマス会やお茶会などへの参加を促しているが、参加者が固定化しないよう工夫が必要。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		月に一度ブログを更新している。 たよりも発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		必要に応じて同意書をいただいている。 個人ファイルの保管には鍵をかけている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		連絡帳にも記入しているが口頭でも説明をしている。 言葉で表現できない児には観察を十分に行うようしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	招待はしていないが、地域の方に協力してもらい、敬老訪問している。 敬老訪問を行い、地域の方との交流を図った。	ゴミ拾い、敬老訪問など訪ねることはあるが施設内に招待することは難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		防犯マニュアルについて周知できていないように思う。 訓練はしているが周知まではしていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に避難訓練を行っている。	研修など受講し、実施予定。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		発作時の様子や服薬についてご家族から情報を得ている。	ご家族の判断で減薬したり服薬ができていないか不明な方がおり対応に迷うことがある。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6	該当者なし。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		職員会議で話し合いの場を設けている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会による研修が定期的に行われている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		6	該当者なし。		